



地域協議会だより

Vol. **4**
2025.3

義務教育学校の開校が令和12年4月に延期となります

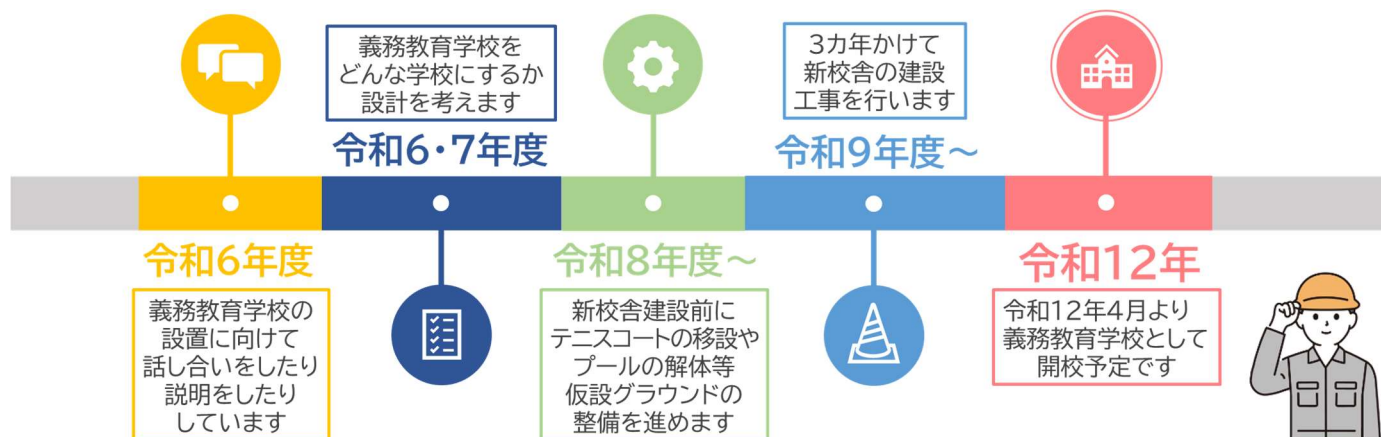
柏中学校区義務教育学校に関して、これまで令和10年度の開校を目指してまいりましたが、

■新校舎と既存校舎を近接させ、小中学校間の連携を高めたより良い教育環境を整備するため、また、現在の柏中学校における学校運営への影響を最小限に留めるため、新校舎建設前にプールの解体やテニスコートの移設など仮設グラウンドの整備などを先行して実施する必要があることから、**新校舎の工事着手が約1年延期**となること

■「建設業における働き方改革」の一環として進められている時間外労働の規制や公共工事における週休二日制の推進の影響などにより、**工事期間が約1年延長**となること

以上の理由により、これまでのスケジュールを見直し、令和12年4月開校を目指して事業を進めていくことといたしました。

開校を楽しみにしていた皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、開校までの間、地域協議会での意見交換や出前講座型意見交換会の開催など、これまで以上に丁寧な意見聴取と情報発信に努めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



現在の年齢 (R6.4月現在)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
開校時の学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生

現在の学年 (R6.4月現在)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
開校時の学年	7年生 (中1)	8年生 (中2)	9年生 (中3)	-	-	-	-	-	-

第4回地域協議会全体会の概要

2月19日(水)に開催された第4回地域協議会全体会では、これまでの総務分科会での検討や、保護者、地域住民からの意見聴取を踏まえ、意見集約の中間取りまとめ案についてまとめました。義務教育学校をより良くしていくための前提や条件については、令和7年度以降も引き続き意見交換を続けていきます。

また、施設分科会では、これまで意見交換された内容や、関係校教職員へのヒアリング、1月に実施した子どもへのアンケート結果などを踏まえ、基本設計にどのように反映させていくかについて意見交換しました。

ご意見・ご要望をお聞かせください

意見集約(中間取りまとめ案)と施設の計画図面案について、関係校保護者、柏中学校区にお住まいの地域の方(未就学児を持つ保護者含む)からご意見を募集いたします

期間：令和7年3月26日(水)～4月11日(金)

対象：柏中学校、柏第一小学校、旭東小学校の保護者、児童生徒、教職員、柏中学校区にお住まいの地域の方

内容：①意見集約中間取りまとめ案について(P4参照)

②施設の計画図面案について(P2、3参照)

方法：右記 LoGo フォームより <https://logoform.jp/form/Mx28/917633>



ご意見フォーム

地域協議会としての意見集約(中間取りまとめ案)

後記の条件で、**学校統合による義務教育学校の設置に「賛成」**し、市と地域が学校の魅力を高めるよう協働し県下に誇るモデル校とする。と意見集約し、令和7年度において条件に関する深掘り・検証・追加検討を行う
※ただし、条件が認容される範囲によって、今後「賛成」ではなく「容認」や「慎重に継続検討」などとせざるを得ない場合がある

条件Ⅰ. 大規模校化への懸念等へ真摯に対応するため、具体的な措置を講じる

- 増置や加配の教員を現在の3校の合計人数よりも増やす。(以下の対応が十分な教職員数を確保する)
- 少人数指導を取り入れると共に、きめ細かな対応を通じて、児童・生徒が「少人数の良さ」を実感できるようにする。
- 不登校児童生徒への先進的かつ積極的な対応を可能にする施設や運営を導入する。
- 義務教育学校の設置をテコに特別支援教育の充実を図る。
- 適度な小中ギャップ、特に5・6年生が旧・小学校課程においてリーダーシップを発揮しながら成長を促されることに鑑み、運営や行事などを通じてこれが損なわれないようにする。
- 1〜9年生の縦のつながりを充実・深化させる行事や活動を設ける。
 - ・英・数(算)は1クラスを2つに分ける等、少人数指導による特定教科における質の高い授業・きめ細かなフォローの実現
 - ・各教科(特に数(算)国理社+英)におけるグループワークを増やすなどした学び合い強化
 - ・不登校児童・生徒への先進的かつ積極的なアプローチを可能にする施設や運営の導入
 - ・学年担任制(チーム担任制)により、多様な教育ニーズに応えながら、子どもをきめ細かく多角的、多面的に見ることができる体制づくり
 - ・特別支援教育を充実させ、運営面や施設面でも従来校の特別支援学級とは一線を画す措置を講じる
 - ・こどもルーム(学童)を拡充し、保護者のニーズに応える
 - ・中学生(後期課程)において、学習面・情緒面の双方から、教育効果を高める具体的な対策を講じる

条件Ⅱ. 通学路の安全確保はもちろん、学区や通学に関する懸念やニーズに対して、課題を抽出し、柔軟かつ適切に対応する

- 交通の面で安全で、防犯の面で安心な通学路が設定可能であること。なお、交通上の安全や防犯上の安心を確保するために、信号やガードレールなどの新設や、スクールゾーンなどの調整、防犯カメラを設置するなどの措置を適切に講じること。
- 大規模校化に伴い、登下校の集中時間帯には、近隣道路への負荷増大が生じるため、教職員または公費負担の人員が近隣道路上において、児童生徒が車両や他の通行者の往来の妨げとならないよう適切に指導すること。
- 上記に関連して、校門(特にバス通り側)は、横断歩道のところの信号待ちの溜りスペースが狭小であることから、校門や校地の外周フェンスを大きくセットバックして、児童生徒の溜りスペースを十分に確保すること。
- 学区の外縁部(特に呼塚エリアやイオン柏方面エリアなど)を中心に、現在の通学距離より遠くなる児童生徒への対応として、スクールバスの運行を検討すること。また、隣接学区の小中学校への進学・転校を希望する場合には条件を付さずにこれを認めること。
- スクールバスを含め学校敷地に入出入りする車両と徒歩の登下校の動線を分けることや、学校周辺の交通事情を考慮するなど、安全と地元との共生を念頭にいた施設配置とすること。

条件Ⅲ. 各校の伝統や、地域やOB・OGとの関係の継承について、適切かつ真摯に取り組み、関係者の理解を得る

- 特に最も歴史が長く、地域との特別な関係を有する柏第一小学校においては、校名や歴史・周年などについて学校統合後との連続性を確保するよう留意して対応すること。
- 各校のシンボリックなオブジェや遊具、樹木などのうち、地域やOB・OG等の関係者の要望が強いものについては、学校統合に際して移設するよう努力すること。
- 新校舎に各校の伝統や歴史を掲示等するための部屋を設けること(地域ルームとの一体化も可)。

条件Ⅳ. 次の事項を含め、その他の懸念・課題へも具体的な対応案を示し、関係者の理解を得る

- 条件Ⅰの内容が実現可能な施設計画とする(条件Ⅱ・Ⅲの該当項目も反映させる)こと。
- 耐震など防災面において、単に学校施設としてだけでなく、地域の防災拠点として適切かつ十分な施設整備を行うこと。
- 柏駅周辺には今後タワーマンションを含め相当規模の住宅供給が見込まれることから、児童・生徒数の増加に対応可能な施設キャパシティとする(将来、増築で校庭が狭くならないようにする)こと。
- 統合時の児童生徒へのケアはもちろん、保護者や教職員にとっても過度なストレスが生じないよう配慮するとともに、工事期間中の柏中学校の生徒の教育環境に対しての影響・負担が最小限になるよう適切な措置を講じること。
- 柏第一小学校の跡地については、公共用地として適切な利用をすること。また、学校統合後の旭東小学校の既存施設の利活用については、市教育委員会において適切に検討すること。

柏第一小学校と旭東小学校の跡地利用等に関する柏市への要請

- 柏第一小学校の跡地については、一部には、分譲マンションなど住宅用地としての民間売却の可能性が言われているが、上記の「学校統合や義務教育学校に賛成する条件」にあるように、公共用地として適切な利用を要請する。
- 学校統合後の旭東小学校の既存施設の利活用については、校舎等の施設状況も勘案のうえ、上記の「学校統合や義務教育学校に賛成する条件」にあるように、市教育委員会において適切に検討することを要請する。
- 当該跡地や既存施設について、地域には次のような視点をもつことや、具体的な機能の要望があることをご理解いただきたい。
 - 1) 防災拠点としての機能
 - 2) 地域コミュニティや多世代交流拠点としての機能
 - 3) 子どもの遊び場の確保の視点
 - 4) こどもルーム(学童)の機能を残すこと
 - 5) スクールバスの発着場所 ※交通の面で安全で、防犯の面で安心な発着場所の確保
- 地域としても、中心市街地においては、まちづくりの観点からも公共用地であるからこそ可能となるまちの機能を設ける重要性が高いと考えている。そこで、当該跡地等のうち、特に柏第一小学校については、長い歴史と地域の愛着がある学校用地であったことを考慮し、その跡地利用方法の具体的検討段階において、学校運営協議会および当地域協議会の意見を考慮していただきたい。
- 公共用地としての跡地利用の具体的な内容について、方向性が出たら早期に地域に情報提供していただきたい。



施設分科会報告

施設分科会では、5 回に渡る地域協議会での意見交換のほか、地域協議会委員による関係校保護者や町会等、各所属における意見聴取、柏中学校・柏第一小学校・旭東小学校の教職員との意見交換、関係校小学5・6年生、中学1・2年生を対象に実施したアンケートの結果を踏まえ、設計図面案に反映させております。子どもたちや保護者、地域住民のご意見を伺いながら、より良い教育環境の確保に努めていきます。

【ご意見を受け反映させた一例】

	ご意見・ご要望の概要	回答
配置	小中学校が交流しやすい施設にしてほしい	小中学校の交流のしやすさに配慮した校舎配置を検討しました。各階を渡り廊下で接続し、行き来しやすいよう整備します。また、学年ごとにオープンスペース、学級ごとにワークスペースを整備し、子ども同士のコミュニケーションや多様な学びに対応できるようにします
通学路の安全	・安全確保のため、歩道を広げてほしい ・南側階段を改修してほしい	・広いグラウンドを確保しつつ、正門前から柏中学校交差点付近をセットバックし、歩道の拡張を検討します ・小学生でも上り下りしやすい階段を整備します
防災	防災面の観点から、避難所としての設備の充実を図ってほしい	グラウンド付近に防災備蓄倉庫を設けるとともに、太陽光発電や自立型発電空調を体育館や一部校舎に設置します。また、マンホールトイレや手押しの簡易井戸を設置します
トイレ	柏中学校のトイレの改修もしてほしい	令和7年度、普通教室棟のトイレの洋式化を進めます
歴史・伝統の継承	柏中学校の並木道をはじめ、各学校の樹木やシンボリックなものを残してほしい	柏中学校の並木道を継承し、新たな並木道を創設します。各校のシンボルについては、移設可能なものは移設を検討、移設困難なものや樹木については、想いを継承し別の形で残す方法で計画します
バリアフリー	実質的なバリアフリーな施設	法律的な対応だけでなく、細部にも配慮した計画します
階段	直通階段ではなく折り返し階段がよいのでは	子どもや教職員の使いやすさを優先し、折り返し階段にします
防音	体育館や給食室からの騒音対策は	授業の支障がないよう防音対策を行います
工事期間の配慮	工事期間中に在籍する生徒への配慮	工事中の教育活動への影響を配慮し、先行してグラウンド整備を行うほか、安全対策、防音対策等に努めます
地域連携等	地域との交流の場所や学校開放	地域のかたやPTAの利用を想定した地域ルームを設置します。また、体育館や図書館の放課後や休日の利用を踏まえてセキュリティ対策等整備します
見守りやすさ	各フロアや職員室から校庭の見通し	死角が少なくなるよう教室を配置します。また、職員室からの見通しに配慮するほか、校舎内外に防犯カメラを設置を検討します

柏中学校区義務教育学校施設整備方針

基本目標1 9年間の学びをつなぐ教育環境づくり

- ・9年間を見通した一貫性・連続性のある教育活動を含む学校運営の実施に適した施設の整備を目指します。
- ・教育上・安全上支障が生じない範囲において、前期・後期課程段階間で共同利用できる空間や、異学年交流の促進につながる空間の整備を行います。
- ・校舎等の行き来が容易にできるよう、新校舎棟と既存中学校校舎棟をつなぐ施設計画を行います。

基本目標2 新しい時代の学びを実現する教育環境づくり

- ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICTを活用する環境を整え、紙と黒板中心の学びから、3面ホワイトボードやタブレットPC端末などを活用した多様な学びが展開されていくよう、ICTのより効果的な活用ができる施設の整備を目指します。
- ・読書・学習・情報の拠点施設となるように、図書室を「ラーニング・コモンズ」として整備します。
- ・複数の教科でも使用できるICT教育環境を活用し、児童・生徒が学ぶことの楽しさを感じることでできる施設や、学校を超えて外部とも多種多様な交流ができる教室の整備を検討します。

基本目標3 児童・生徒の健康、ユニバーサルデザインに配慮した学校施設

- ・学校は、児童・生徒が多くの時間を過ごす場所であり、心身の発達に大きな影響を与えます。施設整備に使用する素材は、触覚や嗅覚、視覚などにも配慮し、児童・生徒が健やかに成長できる環境づくりを行います。
- ・調湿性に優れ、断熱性が高く、リラックス効果があるなど、人にやさしく心休まる素材である木材を用い、ぬくもりと潤いのある学習環境づくりを行います。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、障がいの有無に関わらず、児童・生徒が支障なく学校生活を送ることができる学校施設づくりを目指します。
- ・名ばかりでなく実質的なバリアフリーを整備します。
- ・近くの部屋の音に配慮した教室づくりを行います。

基本目標4 安全・安心に配慮した学校施設

- ・児童・生徒への目が行き届きやすかつ安全性に配慮し、シンプルな配置とします。
- ・低学年の児童の安全・安心に配慮し、1年生から9年生までが発達段階に合わせて健やかに、楽しく学校生活を送ることができる施設計画を行います。
- ・災害時における地域の避難施設として安全・安心を実現する施設整備を行います。
- ・不審者対策など、防犯に配慮した施設整備を行います。
- ・敷地内外を含めた、歩行者や自動車、自転車の動線に配慮した施設整備を行います。

基本目標5 環境に配慮した学校施設

- ・環境負荷を低減し、地球環境に配慮した学校施設として整備するとともに、可能な限りZEB化を推進します。
- ・周辺環境への影響に配慮した施設整備を行います。

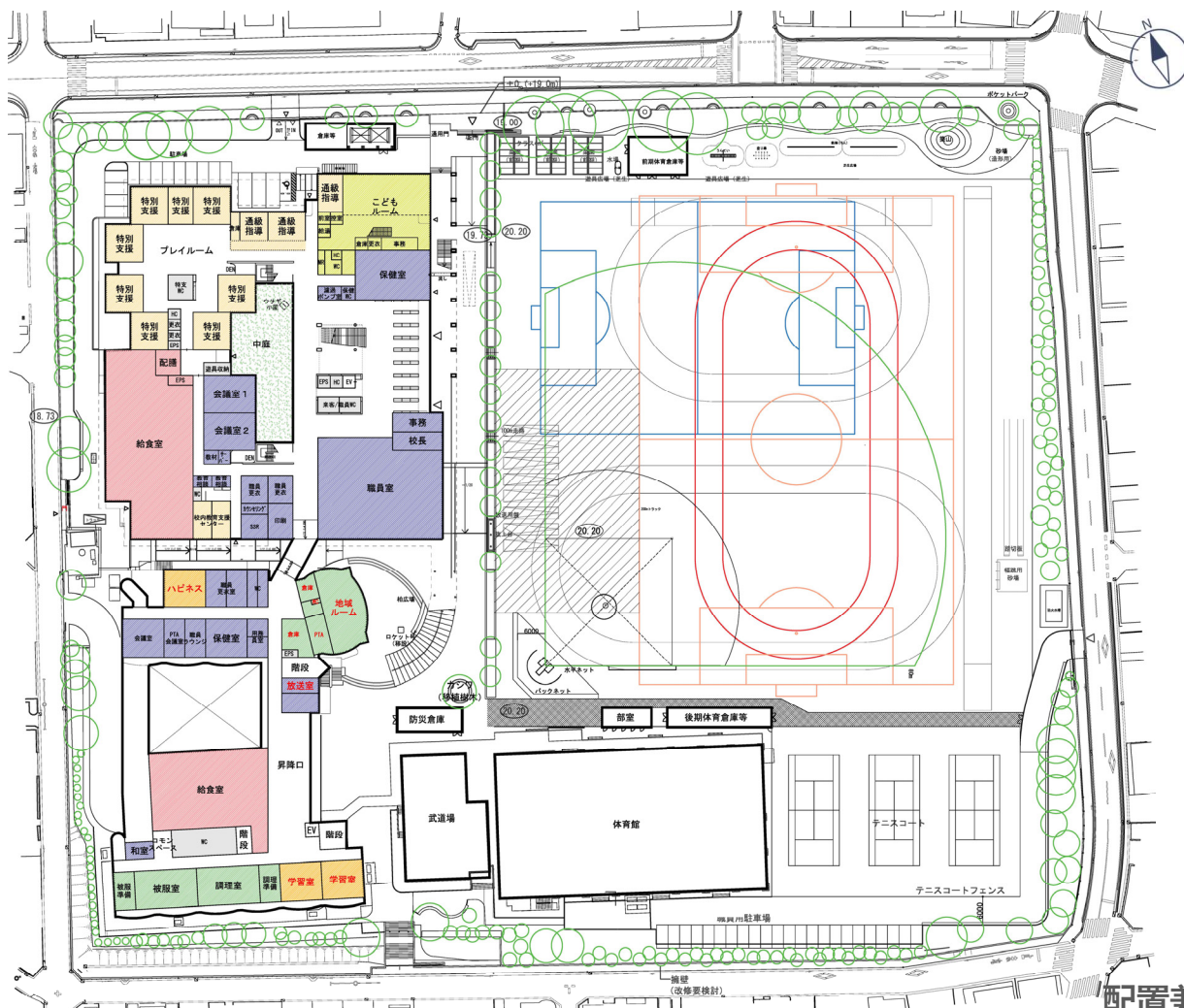
基本目標6 学校運営や維持管理しやすい学校施設

- ・「9年間の学び舎」を意識した柔軟に対応可能な施設、また、時代の変化に合わせて学年ごとの児童・生徒数が変動しても対応可能な施設の整備を目指します。
- ・教員が教員でなければできないことに全力投球できる施設環境の整備に努め、教職員の負担が軽減され学校運営しやすい施設整備を行います。
- ・施設の維持管理費用の削減や長寿命化を図るため、ライフサイクルコスト(LCC)の低減に配慮した施設整備を進めます。
- ・内装や設備等について将来の学習形態の多様化や行政需要の変化に対してに容易に対応できるように施設整備を行います。

基本目標7 既存校の伝統を継承した学校づくり

- ・既存並木をモチーフとした正門からの動線整備を行います。
- ・すべり山、ロケット号や校歌等の石碑などを残した学校整備を行います。

柏中学校区義務教育学校計画図面案(令和7年3月)



※1 プレイルーム
特別支援学級の子
どもたちがクールダウ
ンしたりコミュニケーションを図ったりする
スペース

※2 オープンスペース
個別最適な学びや
協働的な学びを促す
多様な活動に対応で
きる共用のスペース。
子どもたちが生活の
中で関わり合う場

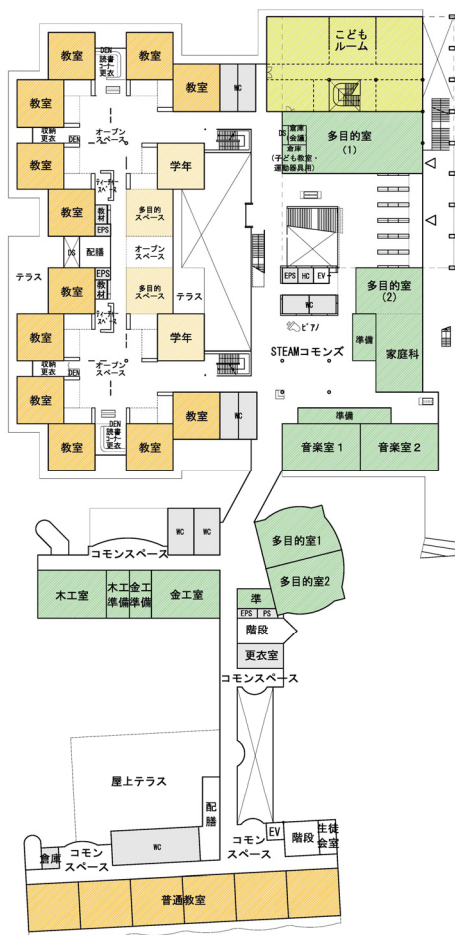
※3 ラーニングコモンズ
新しい様々な学び
を実現する、図書館を
中心とした学びの場

※4 校内支援センター
クラスに入りづらい
と感じている子どもの
居場所

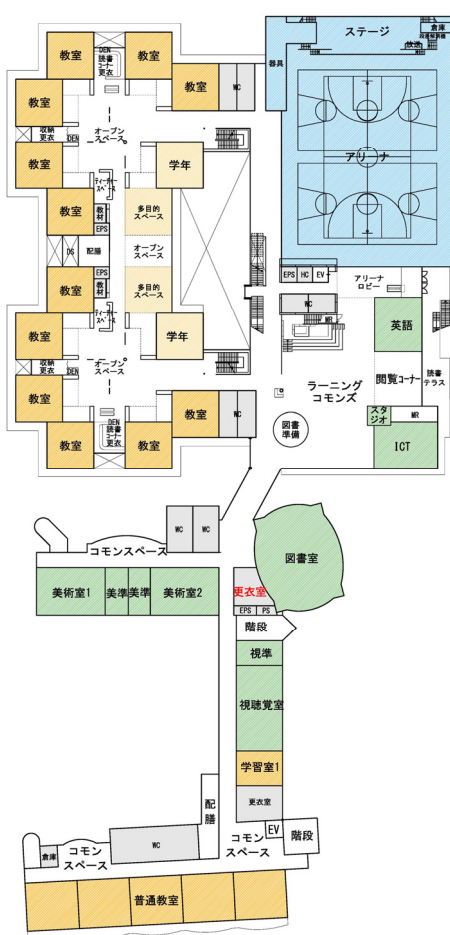
※5 通級指導教室
通常の学級に在籍す
る子どもが、一人一人
の課題に応じた支援や
指導を受けることがで
きる教室

※6 STEAM教育
・Science(科学)
・Technology(技術)
・Engineering(工学)
・Art(芸術)
・Mathematics(数学)
の頭文字を組み合わ
せた造語・教育理念

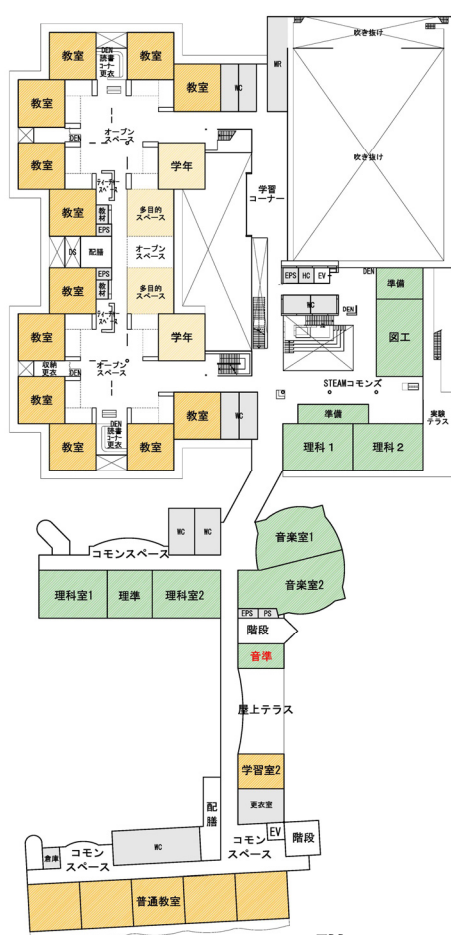
配置兼1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図